

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 56



大野寺の
土塔
堺市中区

堺にある「ピラミッド」

泉北高速鉄道深井駅で降り、東に向かつて住宅街を歩いていくと、土塔と呼ばれる地域があります。今は公園となった中に、真新しい瓦を葺いたまるでピラミッドのような土塔があります。

日本で唯一の 土でつくられた仏塔

我が国唯一の遺構だとされる土塔は、河内国大島郡（現在の堺市）で生まれた奈良時代の高僧・行基が建立したとされる四十九院のひとつで、近くの大野寺の仏塔といわれて



■泉北高速鉄道「深井駅」より南海バス「堺東駅前」行き乗車「深井東町バス停」下車すぐ、または徒歩約1.1km
■南海高野線「堺東駅」より南海バス「深井駅」行き乗車「深井東町バス停」下車すぐ

います。平安時代の「行基年譜」には神亀4年（727年）起工とあり、鎌倉時代の「行基菩薩行状絵伝」にも、本堂・門とともに「十三重土塔」と記された塔が描かれています。しかし、一見してこれが十三重の仏塔だとは説明板がなければ分からないかもしれません。

人名を刻んだ瓦に しのばれる行基の思い

全面に約6万枚もの瓦が葺かれ、各層の垂直面にも瓦を立てて風雨による盛土の崩壊を防いでいたようです。出土した1000点以上の瓦には、へら状の工具を用いて文字が記されています。大半は人名で、行基と共に土塔を建立した知識人と呼ばれる人々の名と考えられています。男女を問わず僧尼や氏族の名前だけでなく、「刀自古」などの一般民衆や様々な階層の名前があり、人々を分け隔てなく接した行基の思いが感じられます。

現在の大野寺は、土塔町公園の向かいにあります。土塔やそばの池を含む大きな寺院であったと思われるのですが、本堂と門と庫裡を残すだけとなっています。

Culture Navi かるチャーナビ

作りませんか

給食の
人気
メニュー

さめのノルウェー風

門真市職労 尾坂 利江さん

協力：現業評議会・給食部会

とってもジョーズにできました
まさかサメとは思えない白身魚の食感



材料（1人分）

- さめ（角切り）50g、しょうが0.4g、酒0.4g
- でんぷん5.6g、油5g
- ウスターソース1.8g、ケチャップ7.2g、砂糖0.5g、水2.4g

作り方

- ①さめに酒とすりおろした土生姜で下味をつけます。
- ②汁気を切ったさめにでんぷんをまぶし、160度～170度の油で揚げます。
- ③ウスターソース・トマトケチャップ・砂糖・水をあわせ、85度以上で1分程度煮立たせます。②のさめと混ぜ合わせます。

16年ぶりにえいが



LION／ライオン ～25年目のただいま～

実話をもとにした映画です。舞台は1986年のインド。主人公のサルーは、4人の子どもを抱えるシングルマザーの母と学校にも行けず働く兄グドウの役に立ちたいとの思いから、兄の仕事についていった時、回送列車で寝てしまい、1600km離れた駅まで来てしまいました。言葉も通じない未知の場で逃げまどい、孤児院に入られることになりました。そこで、オーストラリアの優しい夫婦に引き取られ愛情いっぱい育てられ、インドでの記憶はほとんど忘れていきます。しかし、あることをきっかけに、自分は迷子だったことを思い出し、今も母や家族が捜しているに違いない故郷への

自分を取り戻すために広大な世界に旅立つ

思いを募らせます。住んでいた町もうる覚えで、記憶にあるのは列車に乗り込んだ駅のそばに給水塔があったということだけでした。サルーの自分を取り戻すための途方もない旅が始まりました。

映画の中で、子どもがさらわれるシーンがあり、インドでは年間8万人程度が行方不明になっているそうです。また、孤児院でも虐待のシーンが流れます。子どもの権利が守られていない社会を摘発しているようにも思えました。

この映画の題名がなぜ「ライオン」なのか？インドにはライオンはいないはずなのに？との疑問は最後の最後に明らかになります。4月7日より全国ロードショー。

原爆犠牲者は
もうわたしたちだけで
たくさんです

渡辺 千恵子
(1928年～1993年)

「原爆犠牲者はもうわたしたちだけでたくさんです。原爆はわたしの身体を生まれもつかぬかたわにしてしまいましたが、わたしの心までも傷つけることはできませんでした。（中略）世界の皆さま、原水爆をどうかみんなの力でやめさせてください。そしてわたしたちがほんとうに心から、生きてよかったという日が一日も早く実現できますよう、お願いいたします」長崎で行われた第二回原水爆禁止世界大会の開会総会で、長崎の被爆者を代表して訴えた渡辺千恵子さんの発言です。原水禁運動に尽力した渡辺さんの最初原爆被害を訴える公式な発言でもあります。

今月の
記念日

「ミュージックの日」
3月19日

音楽関係の労働者の団体・日本音楽家ユニオンが、3月19日をミュージックと読ませる語呂合わせから1991年に制定しました。音楽の素晴らしさや楽しさを音楽家の立場から訴え、聴衆の人たちと共有したいという思いと、さまざまな場所で働く演奏家たちの存在をアピールするために毎年この日、日本の音楽文化と音楽家の現状について広く理解を求め、その改善のため全国各地でさまざまな活動を行っています。日本音楽家ユニオンとは、1983年に発足した音楽家の個人加盟による労働組合で、日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）に参加する一方、職能組合として社団法人日本芸能実演家団体協議会にも加盟しています。

心に響く
このひとこと